

2021年3月12日



新・大阪工場竣工のお知らせ

新・大阪工場（大阪府枚方市）の建設工事は、創業100周年記念事業の一環として、2年半の歳月と総額40億円をかけた当社でも最大級のプロジェクトとして推進してまいりました。

本工事は工場の操業を継続しながら一期と二期工事に分けて2020年末に建屋が完成しました。現在、2021年4月の全体操業に向けて、場内に塗装や研磨加工の専用ブース、三次元測定機の設置工事を進めています。

新工場は延べ10,500平米で4階建ての事務・厚生棟と5棟の工場棟で構成されており、「安全性と作業環境の改善、効率化」を目的として設計されました。

安全・作業環境の面では、音響試験室並みに騒音を低減できる試運転室や、溶剤や粉塵から作業を守る専用ブースを完備しています。試運転室は全開閉式で従来の2部屋から3部屋に増やし、医薬・食品向け機器専用のクリーンルームも併設しました。

また、効率化の部分では主力の混合機であるナウタミキサの組立て専用ピットを拡張し2万リットルの大型機から中・小型機は最大8台を同時に組立可能な設備としています。

さらに、自社の製造技術と品質向上を目的に高速回転体用軸受け部品の精密研削加工機械や水平横型乾燥機を加工する専用の工作機械、恒温恒湿の測定室に最新の三次元測定機も導入しました。

これらの設備によって製品の品質向上に加えて、工場としての生産能力は約20パーセント向上しました。

生産された機器の試運転データは、当社のIoT技術を応用し、遠隔でのモニタリングを可能とし、立会検査において顧客は振動や温度などの数値や試運転の様子を別室のモニターで確認することが出来るようになりました。

工場の屋根は遮熱効果を目的に2重構造とし一部には屋上緑化を施し、また採光のための天井窓やLED照明も完備し非常に明るい工場になっています。

また環境への配慮として塗装工程から発生する溶剤を吸着する活性炭装置やバフ研磨の粉塵は自社の集塵機で捕集し、工場外へ排出しないようになっています。

屋根には自家消費型の太陽光パネル1680枚（1枚当たり275W、計462kW）を設置し、工場およびテストセンターで消費され、条件が整えば、大部分の消費電力を賄えるようになります。

(本設備は環境省の資源保護促進事業として給付金の対象となっています。)



ホソカワミクロン大阪本社(手前側が太陽光パネルを屋上に設置した新工場)

100周年を迎え、次の100年へ向かうホソカワミクロングループの旗艦工場として2021年4月に全設備の完成を機会に、業界トップ企業として更なる飛躍を目指します。

以上

<問い合わせ先>

経営戦略本部 経営企画部

TEL 072-855-2704 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近1丁目9番地